

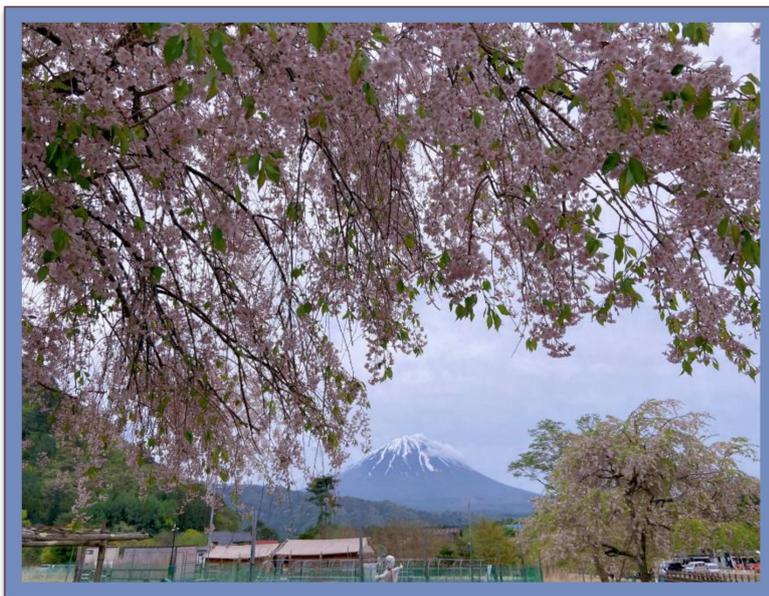
日本での交換留学

北京外国語大学

肖蘇揚 ショウ ソヨウ

北京外国語大学からの肖蘇揚です。今年の4月にお茶大に入学して、今週まで交換留学が終わりました。今学期を振り返ってみると、時間はあっという間に過ぎましたが、友達と多くの観光地に行き、学校でも多くのことを学んで、とても充実した4カ月を過ごしました。

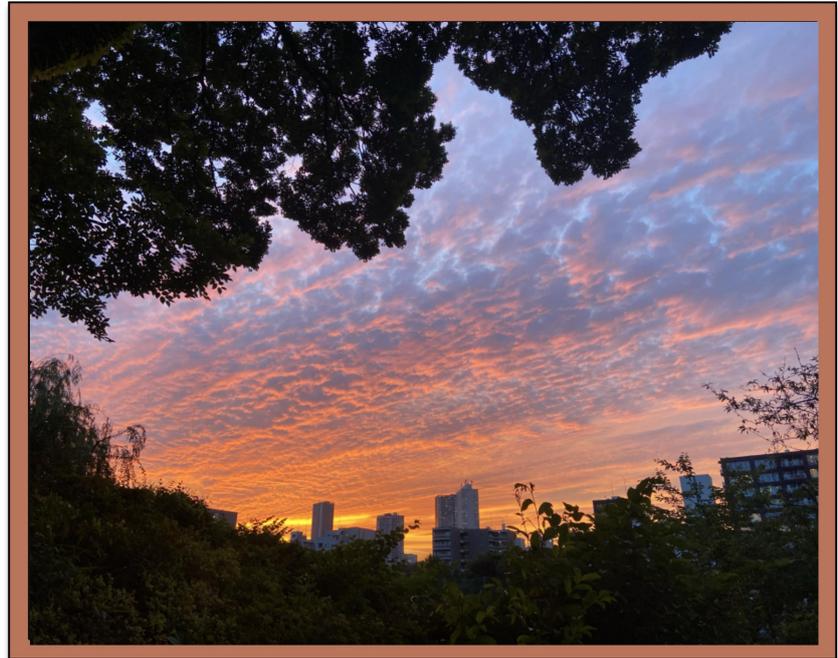
学業では、指導教官の棚橋先生の授業に通うことで、研究視野を広めた気がします。加えて、国立国会図書館を訪れて、母国では手に入らない本や論文をたくさん読めました。また、平野先生の研究方法論コースワークを聴講させて、フィールドワークの方法を学べただけでなく、修士論文についてもクラスメートや先生方から多くの助言をいただけて、とてもありがたいです。BINDERIYA先生の日本語演習授業で社会的なトピックや、アカデミックなトピックに関する資料を読んで、クラスメートと話し合っ、自分の日本語能力と批判的思考力の向上を実感できます。さらに、萩原先生のクラスでは、日本の職場について、自己分析のステップやグループディスカッションのスキルを学んで、日本での就職活動や日本企業について理解を深めました。



また、課外時間では友達とあちこち探索して、いろいろな場所に旅行しました。初めて富士山を見たとき、今までに感じたことのない静けさを感じました。まるで人生の悩みをすべて忘れて、山や森に浸れるかのようです。また、京都、宇治、鎌倉にも行き、各地の料理や風習を体験した。日本で2年間会っていなか

った友人と再会できたのは素晴らしいことだったと思います。

初めての一人暮らしですので、自炊の勉強もしました。日本に来たことはなかったですが、国際課の先生と他の留学生のおかげで、すぐに日本の生活に慣れました。毎日、学校の近くのスーパーに食材を買いに行き、ネットのビデオを見て簡単な料理を作ります。日本の空は美しく、夕方になると燃えるような赤い夕日が空を覆い、道端の建物までもが緋色に染まる光景をよく目にします。



最後に、授業担当の先生方、生活上色々サポートしてくださった国際課の先生方、いつも優しく接してくださった音羽館の管理人様と交換留学生の仲間の皆さん、お世話になりました。どうもありがとうございました。

これから皆さんも自分の持ち味を生かし、道を切り拓いていくことでしょう。未来が明るいものとなるよう、心からお祈りしています。